

「アクセシビリティチェック」

文字の読みが流暢でない「LD（学習障害）」を抱える子どもの存在が、近年の調査研究で判明しています。また、「色覚異常」のある子供も存在します。配慮のため、本チェックリストを活用してください。

● 読みやすいフォント

LDを抱える子供は、明朝体よりもゴシック体が読みやすいと考えられています。特に工夫を施した、UDデジタル教科書体もあります。可能な範囲で使用を検討してください。

● 文字・背景の色

文字の色は少な目に、背景に模様は用いない等、文字と背景のコントラストに配慮してください。色覚異常のある子供には、特定の色が似通って見えます。避けるために、隣り合った部分（文字と背景など）は、違いが明瞭である色を組み合わせる必要があります。

● レイアウト

最近では、優れたテキストリーダーが様々なソフトに適用できるよう進化しています。しかし、テキストリーダーは、段組があるとうまく動作しない場合があります。利用を避けた方が望ましいと思われれます。

● 文字を提示する際には画像だけでは不十分

画像としての文字は、テキストリーダーが読み込めません。文字データを併用してください。